

令和4年度 事業報告

1. 概要

我が国が超高齢社会に向かって急速に歩みを進めている中で、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められております。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな影響を受け、シルバー事業においても会員数や契約額が減少するなどの大きな影響が出ています。

このような厳しい状況の中、仲善広域シルバー人材センターでは、新型コロナウイルス感染防止や健康確保等に十分配慮しながら、新たな就業拡大と減少傾向にある会員確保など強化し、独自に地域性を生かした「中長期計画」に沿って取り組みました。

結果、契約額は令和3年度実績を維持でき、安全就業指針など就業環境の見直しと適正就業、事務改善を中心とした組織改革を進めて一応の成果を得ることができました。

一方、高齢者生きがいサロン「仲善広場」は非常事態宣言・まん延防止重点措置期間を除き、昼食を持ち帰りの弁当に切り替えるなどして奉仕活動を継続して行ったほか、会員の技能向上のための講習会に、ガーデニングやスマホ使い方教室などの生活に密着した講習会の開催をはじめ、「女性のつどい」による女性会員のための催しを実施して、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を地域で生かし、「地域のお役立て」を掲げたシルバー人材センターの構築に努めてまいりました。

令和4年度の実績を見ますと、全国的な会員数の大幅な減少傾向の中、年度末会員数は997人で、年度当初920人と約100人の減少により、当面の努力目標1,000人には届かなかったものの、前年と比べ14人の減少に止めることができました。

対前年度比は、受託・派遣と合わせて受注件数、契約金額共に、昨年並みの微減となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大期のピークが2度ありましたが、従事会員に重症罹患患者を出すことなく昨年並みの実績となり、計画通りの成果となりました。

また、会員数の維持・女性会員確保のため、会員獲得チャレンジ事業として、再入会者の入会金半額キャンペーン、友達紹介キャンペーンなど会員増強のために色々な方策を実施、併せて退会防止のための趣味や家庭での実務的な講習会も行いました。

昨年に引き続き、各地区センターでの説明会を各月3回実施しました。

「女性のつどい」については、多くの女性会員の要望もあり、健康講座やもみじの会の方々がソーイング作品の展示即売会を開催、知人・友人に声をかけた一般の住民併せて48名の方々の参加をいただきました。

コロナ禍のため、ホームページリニューアルやスマホでの普及啓発に努め、発注者や会員へのアンケート調査を基に地域ニーズを掌握してシルバー事業運営に反映させました。以下、主な事業活動について報告いたします。

I シルバー人材センター事業

1 請負・委任による就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図ると共に、活力ある社会づくりに寄与するため、臨時的短期的な仕事の就業機会を提供すると共に、多くの会員に就業機会が得られるよう努めました。

2 職業紹介事業

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務を希望する高齢者に職業紹介をすることにより社会参加の喜びや、生きがい対策を図れる機関としての役割を果たすため、引き続き職業斡旋事業を取り組みました。

3 労働者派遣事業

香川県シルバー人材センター連合会仲善広域事務所として、派遣労働を希望する会員を対象に、労働者派遣による就業機会の提供に努めました。

4 新しい生活様式に対応した就業機会の確保

高齢者の資質の向上のための技能、技術、知識の取得やサービスの向上を図るため、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、感染防止に十分に配慮しながら、デジタル環境の確保と IT リテラシーの向上に努め、適正就業を目的として会員への公平・適正な就業機会を提供するため、LINE を活用したコミュニティーを形成し、年度末現在 154 名の登録者に随時情報を提供しています。

また、高齢者向け料理講習会、スマホ講習会などの人気講習会や、家庭での実践的な清掃講習会、趣味とお仕事に生かせるガーデニングや剪定・庭木のお手入れなどの独自カリキュラムをおこない、参加しやすい一日・半日講習での開催も試みました。

講習会の開催

・清掃スタッフ講習会	24名	・草刈り・草抜き教室	21名
・ガーデニング教室	16名	・高齢者向けの料理講習会	19名
・剪定・庭づくり講習会	28名	・自動車運転技能講習会	39名
・スマホ使い方講習会	延19名		

5 普及啓発活動

シルバー事業の理念を周知し信頼を得られるよう、行政機関の広報紙・行政放送（オフトーク通信）、LINE のお友達登録と連携したホームページをリニューアルし、会員向け、住民向け双方に普及啓発に努めました。

- (1) 会議の開催
 - ・シルバー事業推進委員会 開催回数 3 回
 - ・女性会員活動委員会役員会 開催回数 4 回
- (2) 広報紙掲載
 - ・善通寺市・まんのう町・琴平町の広報紙 掲載回数 1 2 回
- (3) 会報の発行
 - ・発行回数 2 回

6 安全・適正就業の推進

会員の就業中または就業途上における事故防止のため、安全パトロール指導員によるパトロールや、安全運転意識の向上を図るため、安全適正就業講習会の実施や、賠償・傷害事故当事者への安全講習会の参加要請など再発防止に努めました。

- (1) 会議の開催
 - ・安全・適正就業委員会 開催回数 3 回
- (2) 講習会の開催
 - ・交通安全講習会 参加者 1 8 名
 - ・交通安全啓発講義 参加者 2 2 名

7 調査研究

発注者や会員へのアンケート調査を実施し、シルバーに対する意見・要望・苦情を知ると共に会員から事務局に対して一層改善の要望や指摘を伺い今後の事業運営に反映させ、地域から信頼されるセンターを目指すため調査を実施しました。

会員、役員、各委員会所属委員対象に、教養講義を実施し知識の研鑽を行いました。

- (1) 教養講義
 - ・人権研修 開催回数 4 回
 - (善通寺市環境課従事会員 5 4 名)
 - (理事・監事・各種委員・職員 4 9 名)

8 女性会員の更なる拡大、80 歳を超えても活躍できる就業機会の創出に向けた活動

コロナ禍の中、介護施設内でシルバー事業にふさわしい資格の要らない新規就業の開拓、女性会員増加に伴う家事援助などの就業先の確保に努め、人材育成・確保に努めました。

また、お友だち紹介キャンペーンなどのチャレンジ事業の成果として、女性会員数が、プラスに転じ、特に年明け 3 カ月間での入会金免除キャンペーンにより、多くの女性が入会されました。

9 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に、各地区センターで毎月開催し、併せて所属地区に関係なく参加できることで、就業等に係る相談や情報提供の機会を増やしました。

- ・入会説明会の開催 開催回数 3 6 回、入会者数 1 2 7 名
- ・法律・心配ごと相談（顧問弁護士） ホームページ特設掲載、相談件数 1 件

10 社会参加活動の推進

高齢者の社会参加活動を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康保持増進としてのセンターの取り組みは、「SDGs」と深くつながります。

事務所、センター業務での地球環境保護の取組を加え、「かがわ地方創生 SDGs」登

録を通じて、地域の公園や公共施設の清掃活動や資源リユース処理を実践して、地域に活動を発信しました。

- ・清掃奉仕活動
- ・善通寺地区センター 参加者 27名
- ・まんのう地区センター 参加者 15名
- ・琴平地区センター 参加者 16名

1.1 その他の事業

高齢者を対象にしたシルバー交流サロン「仲善広場」では、新型コロナ感染防止対策に沿った形で、地域住民とのふれあいをおこないました。

従事者、利用者から一人の罹患者もなく実施することができました。

- ・「仲善広場」の実施 開催回数 20回 利用者 延 376名

II 法人管理事業

1 会員の状況

令和5年3月末現在の会員数は、男性598名、女性399名、合計997名となっています。地区別では善通寺地区496名、まんのう地区339名、琴平地区162名であります。

2 公益法人制度の対応

平成24年4月1日から移行した公益法人運営は、関係機関の指導、助言のもと、健全な財政運営を図り、適切な財産管理をおこないました。

3 定時総会等の開催

- ・会議名 定時総会 開催回数 1回
- ・会議名 理事・監事合同役員会 開催回数 6回